



千軒の「殿様街道」を現地調査

【福島】全国の山岳士道120カ所の調査、選定を進める日本山岳会（本部・東京）のメンバー4人が23日、調査対象とした町内千軒地区の旧街道「殿様街道」での散策会に参加し、現地調査を行った。

殿様街道は江戸時代に箱館から松前を結んでいた道路の一部。散策会は地域住民らでつくる町千軒地域活性化実行委員会（佐藤孝男会長）が主催し、参加した約30人は7キロ余りの山道を3時間40分かけて歩いた。ちよんまげとみの姿で町史研究会のメンバーは松浦武四郎が記述を残したとされるスモモの老木などについて解説した。

日本山岳会の4人 福島の散策会参加

道支部の荒田孝司さん（72）は「地元の方の解説が古道の良さに深みを与えていた。来春も調査し、多くの人に歩いてもらえよう魅力を伝えたい」と話した。千軒地区に住む殿様街道の名付け親の笹島義広さん（86）は「調査で知名度が上がって、後世に引き継がれればありがたい」と期待した。

日本山岳会は調査結果を踏まえ、2025年までに書籍やホームページで全国の古道1200選を公表する。

（大庭イサク）